

都市再生整備計画 事後評価シート
瀬谷駅周辺地区

令和6年3月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	瀬谷駅周辺地区		面積	約2.5ha
交付期間	平成28年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和6年2月	交付対象事業費	2,128百万円	国費率	40%	

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	高次都市施設((仮称)瀬谷区民文化センター整備事業)							
	提案事業								
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
	基幹事業								
	提案事業								
新たに追加した事業		基幹事業							
提案事業									
交付期間の変更		当初	平成28年度～平成31年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし			
		変更	平成28年度～令和3年度						

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	区内の文化活動の場所についての満足度(満足・どちらかといえば満足)	%	37	平成28年度	44	令和04年度末		28	×	あり	・新型コロナウイルスの影響による外出制限により、施設での文化活動が難しい状況であったため評価値が目標値には達していないものの、直近の瀬谷区区民意識調査結果では、「区内の文化活動の場所に満足していない」、「どちらかといえば満足していない」という回答が著しく減少(37.3%→23.7%)した。 ・事業完了地区周辺の居住者や来街者を対象に実施したアンケート調査(令和4年10月～11月)では、瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)に関して80.1%の方が「満足」又は「やや満足」と回答しており、一定の効果があった。	
指標2	瀬谷区美術展(来館者数)	人	1,980	平成28年度	2,376	令和04年度末		2,934	○	あり	・瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)が整備されたことにより、地域住民の文化芸術活動の交流拠点ができ、瀬谷駅前の賑わいや文化的機能が創出された。	
指標3										なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

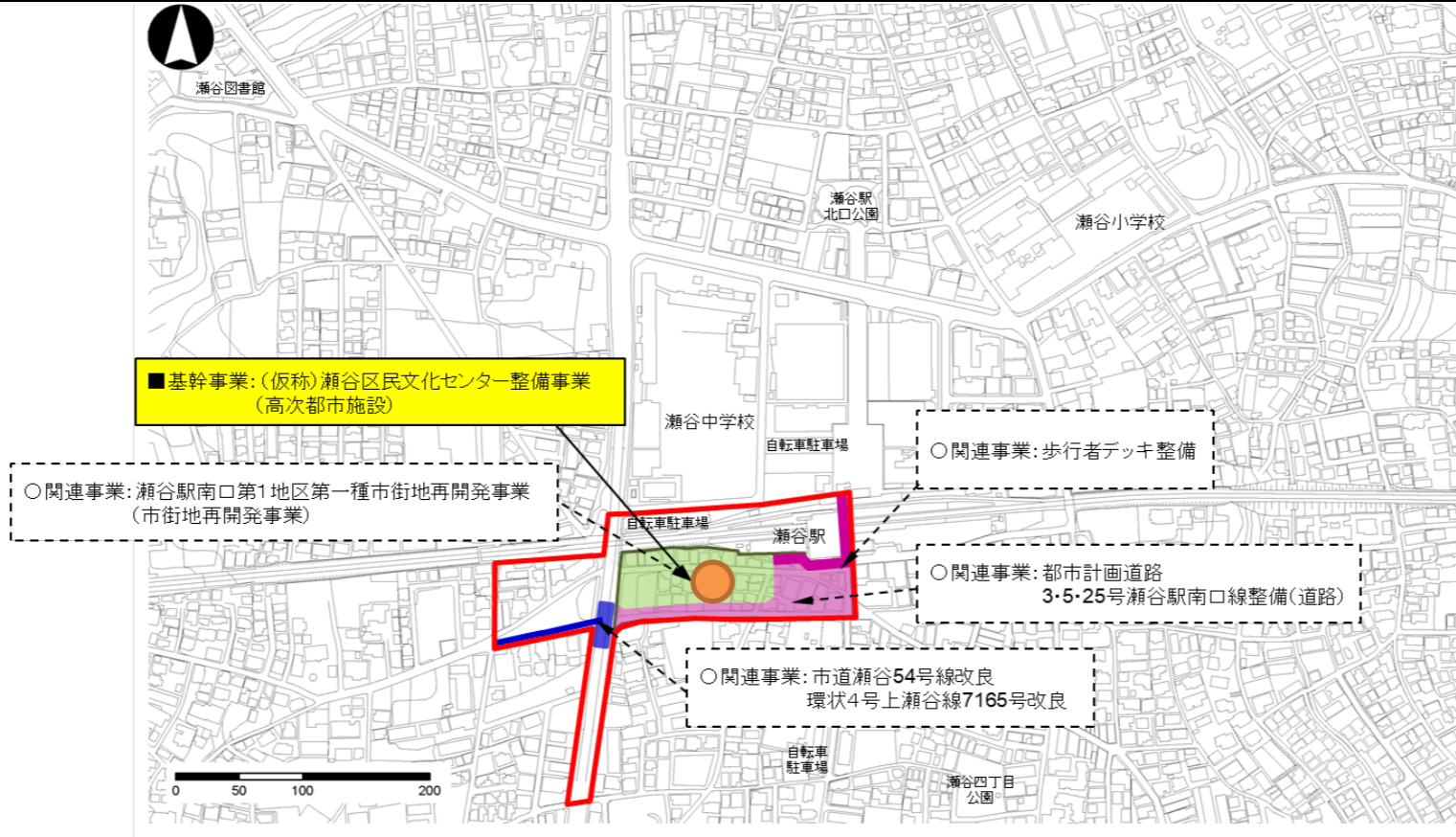
4)定性的な効果発現状況

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	官民連携による取組	モニタリング	官民連携による取組	モニタリング	官民連携による取組
	区民文化センター整備の実施状況、事業進捗率の確認	瀬谷区の文化関係団体や地域代表、学校関係者、学識経験者から構成される「横浜市瀬谷区における区民文化センター基本構想検討委員会」を設置し、区民文化センターの基本コンセプト、機能及び運営方法に関する意見を収集した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	○	瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)の利用者、関係者の意見や要望等を取り入れ、より良い区民文化センターの運営を行う。
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
	持続的なまちづくり体制の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	○	瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)の利用者、関係者の意見や要望等を取り入れ、より良い区民文化センターの運営を行う。
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

瀬谷駅周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 瀬谷駅南口第1地区における市街地再開発事業により、基盤施設を整備するとともに商業施設・住宅等の集積を図り、「駅勢圏の大きい郊外部の生活拠点」にふさわしい駅前空間の形成を実現する。 小目標 地域住民の文化芸術活動の交流拠点として(仮称)瀬谷区民文化センターを整備し、必要な都市機能の集約を図る。	区内の文化活動の場所についての満足度(満足・どちらかといえば満足)	単位: %	37 H25	44 R4	28 R5
	瀬谷区美術展(来館者数)	単位: 人	1,980 H26	2,376 R4	2,934 R5
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R
		単位:	H	R	R



まちの課題の変化

- ・郊外部の生活拠点にふさわしい都市機能(商業施設及び区民文化センター)が集約された。
- ・駅前に144戸の住宅が建設され、駅前としての拠点性が増した。
- ・商業施設や区民文化センターができることで駅前の賑わいや文化的機能が創出された。
- ・地域の文化活動の拠点となる区民文化センターが整備され、特色のあるまちづくりにも繋がる文化芸術活動が始まっている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)
- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○			
B. 目標を定量化する指標		○			
C. 目標値		○			
D. その他()		○			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無	
			基準 年度		基準 年度		目標 年度					あり	なし		
指標1	%	時期:令和5年6月、場所:瀬谷区、実施主体:瀬谷区区政推進課、対象:瀬谷区民、手法:瀬谷区民意識調査			37	平成28年度	44	令和4年末	モニタリング			モニタリング		○	
									事後評価	確定見込み	○	28	事後評価		×
指標2	人	時期:場所:瀬谷区民文化センター、実施主体:瀬谷区地域振興課、対象:瀬谷区美術展来館者数、手法:来館者数計測			1,980	平成28年度	2,376	令和4年末	モニタリング			モニタリング		○	
									事後評価	確定見込み	○	2,934	事後評価		○
指標3									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み			事後評価		
指標4									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み			事後評価		
指標5									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み			事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年6月に実施した瀬谷区区民意識調査の結果、区内の文化活動の場所についての満足度(満足・どちらかといえば満足)の値が目標に達しなかった。 新型コロナウイルスの影響による外出制限により、施設での文化活動が難しい状況であったため評価値が目標値には達していないものの、直近の瀬谷区区民意識調査結果では、「区内の文化活動の場所に満足していない」、「どちらかといえば満足していない」という回答が著しく減少(37.3%→23.7%)した。 事業完了地区周辺の居住者や来街者を対象に実施したアンケート調査(令和4年10月～11月)では、瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)に関して80.1%の方が「満足」又は「やや満足」と回答しており、一定の効果があった。 	
指標2	令和5年7月26日から8月7日に開催した瀬谷区美術展では、2,934人が来館し、目標を達成した。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度		基準 年度		モニタリング	事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標1							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
区民文化センター整備の実施状況、事業進捗率の確認	予定どおり実施した	平成26年度に開催した基本構想検討委員会で検討した基本構想、基本設計及び実施設計、また、瀬谷駅南口第1地区市街地再開発組合理事会や瀬谷駅南口第1地区市街地再開発事業施設建築物新築工事総合定例会議等に出席し、令和3年9月8日の引渡しまで区民文化センターの整備状況の確認や事業進捗を確認した。	瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)の利用者、関係者の意見や要望等を取り入れ、より良い区民文化センターの運営を行う。
	予定はなかったが実施した ○		
	予定したが実施できなかった(理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
瀬谷区の文化関係団体や地域代表、学校関係者、学識経験者から構成される「横浜市瀬谷区における区民文化センター基本構想検討委員会」を設置し、区民文化センターの方向性やコンセプト、機能及び運営等に関して議論・意見交換した結果である「横浜市瀬谷区における区民文化センター基本構想答申」を踏まえて設計を行った。また、「答申」に対して、意見募集を行い、いただいた意見を区民文化センターの整備に反映した。	予定どおり実施した	実施頻度及び実施時期:「横浜市瀬谷区における区民文化センター基本構想検討委員会」開催:平成26年11月26日、平成26年12月24日、平成27年1月28日、平成27年2月25日) ・「横浜市瀬谷区における区民文化センター基本構想答申」受領(平成27年3月30日) ・「横浜市瀬谷区における区民文化センター基本構想答申」に対する区民意見募集(平成27年4月20日から平成27年5月19日) 実施結果:「横浜市瀬谷区における区民文化センター基本構想答申」及び区民意見を反映した瀬谷区民文化センターを整備した。	瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)の利用者、関係者の意見や要望等を取り入れ、より良い区民文化センターの運営を行う。
	予定はなかったが実施した ○		
	予定したが実施できなかった(理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
	にぎわいスポーツ文化局文化振興課	令和5年4月～12月	にぎわいスポーツ文化局文化振興課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2		指標○		指標○		指標○	
指標名		瀬谷区美術展(来館者数)							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	高次都市施設((仮称)瀬谷区民文化センター整備事業)	◎	瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)が整備されたことにより、地域住民の文化芸術活動の交流拠点ができ、瀬谷駅前の賑わいや文化的機能が創出された。						
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も地域住民の文化芸術活動の交流拠点として区民文化センターを活用する。				
-------	--------------------------------------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標○			指標○			指標○																
指標名		区内の文化活動の場所についての満足度(満足・どちらかといえば満足)																									
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類														
基幹事業	高次都市施設((仮称)瀬谷区民文化センター整備事業)	△	・新型コロナウイルスの影響による外出制限により、施設での文化活動が難しい状況であったため評価値が目標値には達していないものの、直近の瀬谷区区民意識調査結果では、「区内の文化活動の場所に満足していない」、「どちらかといえば満足していない」という回答が著しく減少(37.3%→23.7%)した。	分類Ⅲ																							
															・事業完了地区周辺の居住者や来街者を対象に実施(令和4年10月～11月)したアンケート調査では、瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)に関して80.1%の方が「満足」又は「やや満足」と回答しており、一定の効果が												
関連事業																											

※目標未達成への影響度
 ××:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △:数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 -:事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ:内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ:外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ:外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ:内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)の利用者、関係者の意見や要望等を取り入れ、より良い区民文化センターの運営を行い、区内の文化活動の場所についての満足度を上げる一助としたい。				
------------------	--	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
瀬谷駅南口では、地区内の道路が狭あいであるため、南側地域の駅アクセスに課題があり、歩車分離がされておらず交通安全上も課題がある。	瀬谷駅舎と再開発ビルを繋ぐ歩行者デッキの整備及び駅周辺に歩道が整備されたことで、交通の安全が確保された。		
郊外部の生活拠点にふさわしい基盤施設の整備や都市機能の集積が遅れている。	ライブゲート瀬谷の整備により、郊外部の生活拠点にふさわしい都市機能(商業施設及び区民文化センター)が集約された。		
人口減少に伴い駅前としての拠点性が低下することが懸念される。	瀬谷駅前に144戸の住宅が建設され、駅前としての拠点性が増した。		
区民が集える文化的な施設が不足している。	瀬谷区民文化センターの完成により、瀬谷区民が集える文化的施設が整備された。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	区民文化センターでの交流の促進	区民文化センターの利用率が上がり、交流が促進するよう、瀬谷区民文化センター(あじさいプラザ)の利用者、関係者の意見や要望等を取り入れ、より良い区民文化センターの運営を行う。	施設利用に関するアンケート調査

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業

フォローアップ又は次期計画等

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

--

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標	単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
		年度	年度	年度	年度	確定	見込み		あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	区内の文化活動の場 所についての満足度 (満足・どちらかといえ ば満足)	%	37	H28	44	R04末	確定 見込み	○ 28	×	あり なし	○			
指標2	瀬谷区美術展 (来館者数)	人	1,980	H28	2,376	R04末	確定 見込み	○ 2,934	○	あり なし				
指標3				H		H	確定 見込み			あり なし				
指標4				H		H	確定 見込み			あり なし				
指標5				H		H	確定 見込み			あり なし				
その他の 数値指標1				H			確定 見込み							
その他の 数値指標2				H			確定 見込み							
その他の 数値指標3				H			確定 見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	-	-
	うまく いかなかった点	-	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	-	-
	うまく いかなかった点	-	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	-	-
	うまく いかなかった点	-	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	-	-
	うまく いかなかった点	-	
その他	うまくいった点	-	-
	うまく いかなかった点	-	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

網島駅東口周辺地区(事後評価)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	横浜市ホームページに事後評価原案を掲載				都市整備局企画課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	
-------	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員					
その他の委員					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	
	フォローアップ	
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
中村文彦 東京大学大学院新領域創成科学研究科 特任教授	令和6年2月19日(予定)	にぎわいスポーツ文化局文化振興課

有識者の意見	
--------	--